

1. 第2回定例会開催中【会期6月7日～22日】

*一般質問の抜粋（会期4日目：6月10日(金)登壇）

①新たに策定された「かすみがうら市教育振興基本計画」の重点施策と計画に基づく教職員の働き方改革への取り組みについて

Q：22年度から26年度までを計画期間とした第4期『教育振興基本計画』が3月に公表され、社会環境の変化に加え、本市の学校統廃合も終えた時期に策定されたことはタイムリーである。『教育振興基本計画』の重点施策および対応策を伺う。

A：重点的な施策として3点考えている。

1点目は「小中一貫教育の推進」。令和3年度から中学校区ごとに小中一貫教育の根幹である「学びの連続性」を目指した授業研究を各中学校単位で行っている。

2点目は「生徒指導の充実」。中学校・義務教育学校後期の7年生対象に弁護士を招き、「いじめ」の現状について具体的な話を通して生徒がいじめを「自分事」として捉えられるような取り組みを進める。

3点目は「ICTを活用した学びの充実」。今後さらに教職員のICTスキルを高め、児童生徒のICT活用能力や学力の向上を図っていくため、学校間の情報交換や専門家による研修会などを実施する。

Q：第4期『教育振興基本計画』には、新たに学校における働き方改革の推進が加えられたことから、教職員の多忙化の解消に向け、積極的な取り組みを期待している。

A：2015年度（平成27年）の教職員アンケートでは、1日10時間以上勤務している教職員は全体の67%という結果が出ていた。しかし、本市では留守番電話の導入や市費のチームティーチング教員の採用やコロナ感染症対策での検温管理システム「リーバー」など様々な対策を講じ、令和2年度は、年間平均1日10時間以上、月45時間以上の超過勤務者の割合は3分の1程度の23%まで減少している。しかしながら、教職員は「調査や事務関係の提出書類」や「授業以外の校務」に多忙感を感じたり、職務上の悩みを持っている。

今後は、教職員の業務を手助けする取り組みを県の動向を注視しながら進めることで、さらなる超過勤務の削減、多忙化の解消に努める。

②雪入山・浅間山ハイキングコース周辺の環境整備や付加価値の創造について

Q：ハイキングコースについて、昨年3月の定例会一般質問において、林野庁から指摘された国有林を通るコースの借用手続きを早急に進めるように市の対応を求めた。その後の進捗状況について伺う。

A：令和3年度中に測量を実施し、案内看板を設置する箇所2㎡、遊歩道部分はおおよそ幅2m、延長が約365.5mとなり、借受け面積は733㎡となり、令和4年4月に国有

林の一部を遊歩道として借受けする申請を行った。

契約締結には通常約2か月程度かかり、7月頃の契約締結を見込んでいる。

Q：雪入山・浅間山は、筑波山地域ジオパークのジオサイトに指定されており、環境保護の一方策として、この地域に群生する貴重なラン科の植物であるキンランは、茨城県が準絶滅危惧に指定していることもあ

り、保護を訴えてきた。

キンランの保護およびハイキングコース周辺の整備は、利用者の安全確保だけでなく観光誘客にもつながる付加価値の創造に寄与するものである。

ハイキングコース周辺の環境整備や付加価値の創造について伺う。

A：キンランの保護は、現在は「雪入山のキンランを守る会」の方が保護活動を行っていただいていると認識している。また、ハイキングコース周辺の整備については、公園内は指定管理の業務の中で年3回（夏・秋・冬）草刈り、枯れ木の除去、伐採等

行っている。

ハイキングコース周辺の環境整備や付加価値の創造については、ハイキングが行いやすいように、令和2年度に雪入ふれあいの里公園の東屋の整備、令和4年度は三ツ石森林公園内における、老朽化により使用禁止となっている休憩所を撤去・新設する。

園地内の環境整備を行うだけでなく、指定管理者が中心となってガイドを積極的に行ったりして、雪入山の魅力を積極的に発信し、より気軽にハイキングが行え、来訪者が増加するように努めていきたい。

2. 新型コロナウイルス感染対策（5/23専決処分1億2,726万円）

イ）子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯） 2,492万円

児童一人当たり5万円×473人

ロ）子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯分） 2,276万円

児童一人当たり5万円×430人

ハ）新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費 7,207万円

相談体制等（コールセンター）設置委託、8月～12月 2,224万円

ワクチン接種委託 3,192万円

ニ）新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援委託 750万円

約5日分の食料等 1,000人分×7,500円

3. 市長選挙及び市議補欠選挙（7/3告示、7/10投票）

現職の坪井市長が引退を表明した市長選挙及び市議会議員補欠選挙は、7月3日告示、投開票は参議院選挙にあわせ7月10日に執行されます。

市長選には、いずれも新人で医師の金子氏、前市議の宮嶋氏と久松氏、市議の古橋氏が立候補すると見込まれ、4名による混戦が予想されます。

市議会議員補欠選挙は、定数3名に対して立候補予定者事前説明会への出席は1名のみで、今後の動向は不確定な状況です。

4. 第26回参議院議員通常選挙（6/22公示、7/10投票）

◆茨城県選挙区◆
茨城から日本を笑顔に

「堂 込 ま き こ」

を応援します

【比例代表選挙】
あなたと動けば、未来はかわる

「矢 田 わ か 子」

を応援します